

当校において2006年から2013年までに 学校健診を受けられた方およびそのご家族の方へ (記述研究ご協力をお願い)

当校では、以下の記述研究を実施しております。この研究は、学校保健のデータ分析用に保管された学校健診結果などの保健情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への健診等情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] Adiposity Rebound は思春期の体格指標となり得るか：幼児期の体格推移と思春期の体格の関連を検討する後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 芳我ちより 香川大学医学部看護学科 教授

[研究の目的]

学校健診等において得られた情報を活用した小児期からのヘルスプロモーションが求められています。本研究は、成人期のメタボリックシンドロームと関連するといわれる思春期の肥満や、日本における低出生体重児の増加との関連が注目される思春期のやせと Adiposity Rebound (AR) の関係を検討し、AR が思春期の体格の早期指標となりえるかを明らかにすることです。

[研究の方法]

対象となる子どもさん

山梨県都留市の小中学校において、2006年から2013年までに学校健診を受診された方
利用する健診情報

健診情報：年齢、性別、出生順位、体重および身長(乳幼児健診データ含む)

[研究組織]

研究分担者

香川大学 医学部看護学科 辻京子

研究協力施設および研究協力者

山梨大学大学院総合研究部医学域 教授 山縣然太郎

准教授 横道洋司

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他のお子さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用するお子さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際もお子さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川大学 医学部看護学科 芳我ちより

住所 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

電話 & Fax 087-891-2356 E-mail chiyori@med.kagawa-u.ac.jp